

KINGCA WEEK 2023 に参加して

北里大学医学部 上部消化管外科学

櫻谷 美貴子

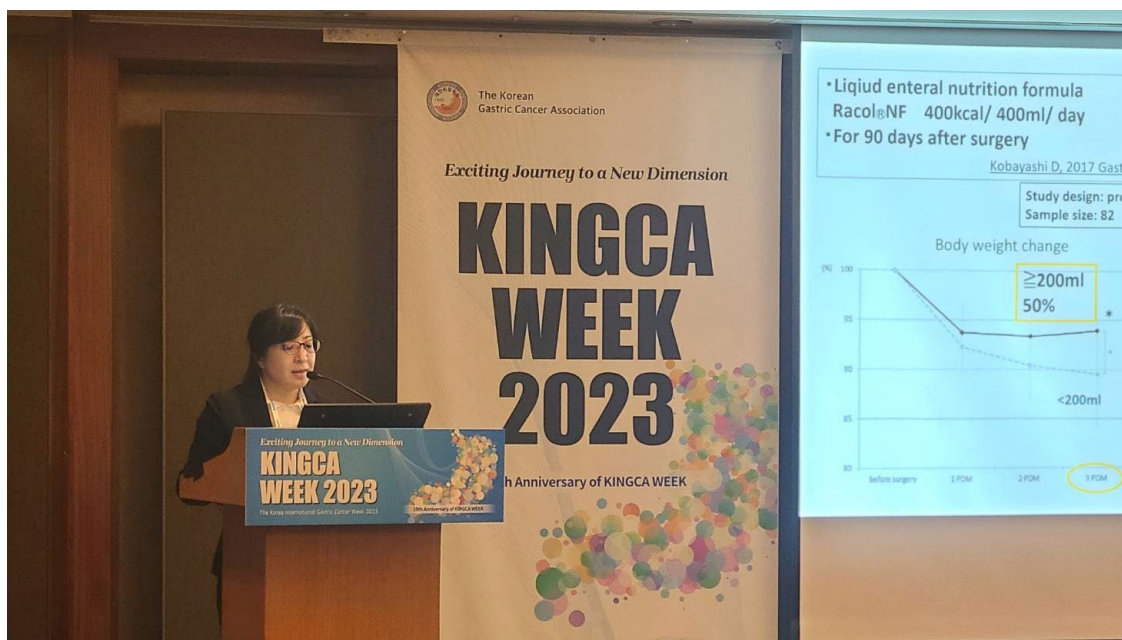
2023年9月14日～9月15日に日本胃癌学会より参加助成を頂き、KINGCA WEEK 2023に参加させて頂きました。当科の比企教授よりこのような有り難いお話を頂き、KINGCA WEEK 2023に参加させて頂く運びとなりました。

これまで、学会における英語でのプレゼンテーションの機会は3回ほどございました。2019年4月に北里大学病院に赴任後、消化器外科学会・胃癌学会での英語セッション、韓国外科代謝栄養学会（KSSMN）において英語でプレゼンテーションをさせて頂く機会を頂きました。いずれの学会でも質疑応答では質問してくださる先生の意図が理解できなかつたり、自分の言いたいことが上手く表現できなかつたりして、自分の英語力の未熟さを痛感することが多く、英語に対する苦手意識しかございませんでした。

今回、胃癌に対する胃切除術を受けた患者を対象として、早期運動療法を併用したアミノ酸加末梢静脈栄養輸液の除脂肪体重減少抑制効果を単施設で検証した Preliminary 試験の結果を発表させて頂きました。研究の立ち上げから実施まで尽力した思い入れのある研究であり、胃癌周術期の運動・栄養療法の成果について伝えたいという熱い思いがございました。質疑応答では、胃癌術後のONSのコンプライアンスを上げるための工夫や実際のリハビリテーションについて、様々なERASに関する質問を頂きました。質問してくださった先生方は私の拙い英語を熱心に聞いてくださっていましたが、もっと自分の英語力を高め、研究についてディスカッションしたいと強く感じました。今までは苦手意識しかない英語でしたが、海外の先生とコミュニケーションをはかり、研究についてディスカッションする手段として英語力を高めたいと思うようになりま

した。2022年度の感想記を拝見し、機会がございましたら今後施設見学もしてみたいと思いました。

この度はこのような素晴らしい発表の機会を与えて頂きました日本胃癌学会理事長の掛地吉弘先生、監事の小寺泰弘先生、国際委員会委員長の竹内裕也先生には心から御礼申し上げます。今後も日本胃癌学会からの海外学会参加補助制度が継続し、1人でも多くの若手学会員が海外学会で勉強できる機会が得られるよう心から願っております。



KINGCA WEEK 2023 での発表



左からがん研究会有明病院 布部創也先生、同僚の樋口格先生、私、大分大学
医学部教授 衛藤剛先生